

第 18 回 滋賀県国民健康保険運営協議会の結果概要

1. 日 時 令和5年8月1日（火）15時00分から16時50分まで
2. 場 所 滋賀県危機管理センター1階 会議室1
3. 出席委員
寺井委員、深尾委員、岡本委員、藤井委員、高橋委員、諸頭委員、柳本委員
高山委員、足立委員、瀬古委員、西田委員、寺村委員
4. 欠席委員
黒川委員、廣瀬委員
5. 事務局職員
大岡健康医療福祉部長、谷医療保険課長、稲葉参事、山田課長補佐、小林主幹、
田中主査、西田主事
6. 会議の内容
(1) 滋賀県国民健康保険事業の運営状況について
(2) 第3期 滋賀県国民健康保険運営方針の策定について
(3) 第2期 滋賀県データヘルス計画の策定について
7. 主な御意見等

(1) 滋賀県国民健康保険事業の運営状況について

- 財政は市町ごとで全然違うので、その辺を踏まえて保険料水準を統一するのは至難の技だと思うが、何とかそこに向けて努力しているのだと理解した。
- 県平均収納率が下振れした要因について、最低値の方に市町の分布が集中している可能性が高いため、その観点で分析していけば良いかもしれない。
- 財政安定化基金の積立額について、何か基準的なものを県として持っているのかどうか。

(2) 第3期 滋賀県国民健康保険運営方針の策定について

- マイナカードと健康保険証の一体化について、情報がなかなか国民に浸透していないので、これからの不安ばかりが先走るのではないかと思う。
- 健康保険証の廃止については、県の方で今後国の動向などが分かれば、周知していただければありがたい。
- マイナ保険証の問題については、今の時点で急ぎ過ぎたということと、説

明が十分になされていないことが大きな問題だ。

- 医療機関は今の状態ではまず動けないので、このままで本当にできるのか非常に疑問がある。
- 市町、被保険者が混乱しない制度設計を絶対にやっていただきたい。

| | |----------------------------| | (3) 第2期 滋賀県データヘルス計画の策定について | |----------------------------|

- がん検診と特定健診の同時実施にかかる各市町と協会けんぽの連携強化の取組について、県としてもフォローをお願いしたい。
- 後発医薬品の推進については、供給問題の正常化を大前提として取り組んでいきたいと思っているので、その辺りのご理解をお願いしたい。
- 保険者同士だけではなく、関係者全員が健康増進に繋がるような取組を一体で実施していけたら良いと思う。
- 挙げておられる健康課題に対処するなら、特定健診とがん検診をセットで受診する必要があるが、そのような人は本当に少ないのではないか。
- この4つの健康課題ごとに計画を作っておられると思うが、各計画の整合性を必ず取っていただきたい。
- 医療関係の計画は本当に複数あるので、一旦全部洗い出して、少しずつステップアップしていくことが必要だと思う。
- 後発医薬品の問題については未だ回復の見込みがなく、薬局は各対応に多大な時間を取られ、患者さんにも本当に迷惑を掛けてばかりの状況だ。
- 後発医薬品の問題については、国が業界再編に向けて動いているが、そのような大きな供給体制を作る方向性がないとどうにもならないと思う。

以上